

研究計画書

ゼミ名	小山ゼミⅡ	チーム名	エスネット
タイトル	インターネットにおける誹謗中傷対策への提案		
テーマ群	a)理論・情報		
メンバー			
研究計画内容	<p>「研究背景」</p> <p>近年、ネット上で誹謗中傷に関するニュースをよく目にするようになった。実際に総務省の「違法・有害情報相談センター」によると、2019年度の相談件数は5198件と、2010年度の約4倍に膨らんでいる。情報化の時代になることによって、様々なメリットが生じているが、デメリットも生じている。その1つがネットでの誹謗中傷である。これから情報化の時代の中でどのように対策をしていくか検討する必要がある。</p> <p>「研究内容」</p> <p>ネットでの誹謗中傷を検討するにあたりさまざまな視点から考える必要がある。本研究では、以下の3つの視点についてそれぞれ考えていく。①ネット上に誹謗中傷を書き込む加害者に対する対策②ネット上に誹謗中傷を書き込まれた被害者の対策③①②以外の点で機関が行う被害者の救済処置。①では加害者に対して規制を求める声もあるが、表現の自由を奪うなどの問題点もあり、規制をすることが正当な批判を抑制する可能性がある。②では、被害者は発信者情報開示を行うことができるが、被害者にはかなりの時間とコストがかかり、現状では被害者の対策は難しい部分がある。③では、例えば、プラットフォームの提供者が対策をすることにより被害者への救済処置または誹謗中傷コメントが届くのを防ぐなどがある。この際管理コストの問題などが挙げられる。以上の3つの視点からどのように対策をしていくべきかを考え、私たち独自の新たな提案をすることを最終的な目的とする。</p>		